

たのの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒 781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1

TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 大介
(題 字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail: info@usui-kai.com



「西芳寺（京都府） 撮影者：岡崎 裕行 様」

最近思うこと

蒸し暑い日が増えてまいりました。みなさま体調など崩されていませんか。

さて、私は医師として小児外科医にはじまり、小児科医、そしてリハビリテーション科医として診療に携わってきました。現在も小児の診療を続けており、日々の診療の中では、身体の症状やこころの問題だけでなく、ご家庭での心配ごとやお子さんの生活に関するご相談をいただく機会も少なくありません。

ご両親から一番多くいただくのは、「子供がなかなか勉強をしない、やりたがらない」というお悩みです。これは私が小児診療に関わりだして25年間、長く続いている共通の悩みであると感じています。もちろん答えは一つではなく、年齢や性格、嗜好等によって話す内容も伝え方も変わってくると思います。

ただ、私の子供時代と比べて大きく異なるのは、今の子供たちがより多くの誘惑や危険にさらされている点です。インターネットやオンラインゲームなど、かつてはなかった多様な情報や刺激に日常的に触れるようになりました。便利さをもたらし、将来の可能性を広げるツールである反面、ネット・ゲーム依存の問題やSNSを通じたトラブル、さらには「闇バイト」といった犯罪の入口に子供たちが

院長 白井 大介

巻き込まれるリスクも潜んでいます。実際に、子供が被害者となる略取・誘拐や暴力的性犯罪は増加傾向です。

急速な技術革新によって以前とは比較にならないほど便利になりましたが、同時に物騒な世の中にもなりました。だからこそ、今の時代を生きていくための「学びや知識」、そして「自分で考える力」がより重要になっていると感じます。

診療室で「高校には行かない」と話すお子さんに出会うこともあります。その際、私は「進学をしない」ということは、社会に出て働くという大きな決断でもあるんだよ。お給料をもらって仕事をすること、これは責任を伴い、決して楽なことではないよ」と社会の現実やリスクを率直に伝えるようにしています。

ただ、今は「楽に大きな報酬が得られる」といった情報に触れる機会も多く、誤った判断をしてしまうリスクも増えています。だからこそ、家庭や学校での教育、医療現場、行政、地域による啓発、それぞれの連携がより重要になっていると感じています。

私たち医療者も、日々の診療を通じて、お子さんやご家族の悩みに寄り添いながら、少しでも安心して成長の過程を歩んでいただけるよう、今後も努めてまいりたいと考えています。

『その痛み、带状疱疹かもしれません』

～50 歳を過ぎたら注意したい身近な病気です～

带状疱疹とは、

院長 白井 大介

水ぼうそうと同じウイルスが原因で、体の左右どちらかの一部にピリピリとした激しい痛みと、带状疱疹の赤い発疹や水ぶくれができる皮膚の病気です。

こんな症状ありませんか？

- ☒ ピリピリ痛む
- ☒ 片側だけ痛い
- ☒ 赤い発疹・水ぶくれ
- ☒ 夜眠れないほど痛い

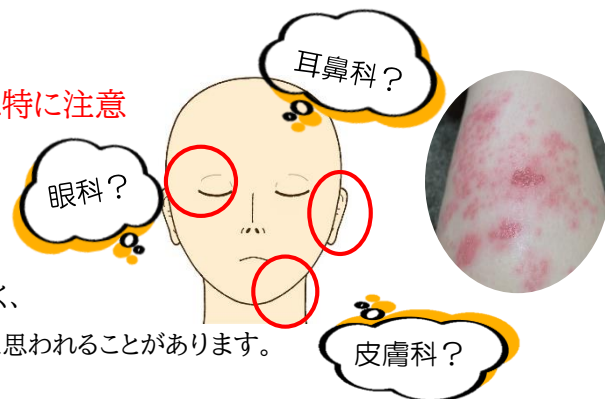
ひとつでも当てはまる場合は、ご相談ください。

顔や目の周囲は特に注意

- ・耳の奥
- ・頭皮
- ・口の中

など発疹が見えにくく、

頭痛等の別の病気と思われることがあります。



「何科を受診したらいいのか分からない時は“総合診療科”へ」

带状疱疹は、症状が出る場所によって 皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科 など、関係する診療科が異なる場合があります。当院では、専門外来が診療していない時は **総合診療科** が窓口となり、必要に応じて適切な診療科へご案内しています。

「今日はやっていないから・・・また今度。」と、そのままにせず是非総合診療科で早めの受診をお願いします。

带状疱疹の予防・再発予防には



带状疱疹ワクチンの接種を

Q.高齢者しか受けられませんか？

A.いいえ。50 歳以上の方は自費で接種できるワクチンがあります。また、**定期接種(公費負担接種)**の対象年齢は、原則 **65 歳**になる年度の方です。さらに、令和7年度から経過措置として **70・75・80・85・90・95・100 歳**になる年度の方も対象となります。

Q.一度带状疱疹になった人も接種できますか？

A.接種できます。**※接種の可否は医師にご相談ください。**

Q.ワクチンを受ければ絶対に带状疱疹になりませんか？

A.完全に防ぐものではありません。発症や重症化の予防が期待されます。

带状疱疹ワクチンは 2 種類あります

	生ワクチン	不活化ワクチン(シングリックス)
接種回数	1回	2回
発症予防効果(接種後1年時点)	6割程度	9割程度
(// 5年時点)	4割程度	9割程度
(// 10年時点)	—	7割程度
公費負担接種	3,000円	7,000円/回×2回
公費負担外接種	7,150円	23,100円/回×2回

※接種するワクチンは、年齢や健康状態などを考慮し医師と相談して選びます。

総合診療科案内

	午前	午後
月	○	○
火	○	○
水	○	○
木	○	○
金	○	○
土	○	—

受付時間

午前 8:00～12:00

午後 12:00～17:00

診療時間

午前 9:00～12:30

午後 14:00～17:30

お問合せ先

(代表)0887-38-7111

受付・外来スタッフまで

お気軽にお声がけください。

地域医療研修

令和 8 年度

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生をご紹介します。



前田 未来 研修医

(国立国際医療センター)

研修期間

令和 8 年 4 月 13 日～5 月 17 日

出身地: 熊本県

出身大学: 東京大学

趣味: ランニング、ミュージカル鑑賞

海外旅行

01 急性期治療の「その先」について特によく学べたと思います。私が現在研修をしている病院は、三次救急や緊急手術などを盛んに行っているところで、ある程度急性期の治療が終わると患者さまはリハビリ病院へ転院されますが、実際にそれがどのようなものなのかを貴院の回復期リハビリテーション病棟で学ぶことができました。また、訪問診療や愛光園・はまうづ医院などの見学を通して、さらにその先にある高齢者の終末期の包括的なケアについても多くを知ることが出来ました。

救急科志望ですが、二次救急の病院がどのような基準で患者さまに更に高度のケアが必要と判断し、転院搬送の調整を行うのかについて学ぶことができました。さらにその中で、「転院するには理由がある(できることはやるが、そこだけで診ることが患者さまの不利益になると考えた上で、やむをえず転院をお願いしている)」という背景があることも、院長先生との対談などを通して理解しました。

02 地域の人々を包括的に診ている、とても頼もしい存在。

03 医学的な問題だけではなく、社会的背景やその人の性格など、患者さまを総合的に診た上で、その人のためになる医療を提供できる医師になりたいです。また、どのような患者さまが来ても初期対応ができ、どの科に相談すればよいかを判断できるよう、幅広い知識を持った医師を目指したいと思います。

04 これまで多くの方々にお世話になりながら、ここまで来ることができました。今後は、患者さまを総合的に治療・ケアできる医師となり、地域にしっかり貢献していきたいです。また、これから医師を目指す人や、研修医として学んでいる途中の人にとって、ガイダンスができる頼もしい存在となり、誰にとっても相談しやすく、寄り添いやすい医師になりたいです。



「看護職の魅力とキャリア」を伝える説明会

5月と6月に、高知県医療政策課の皆さまと共同で、室戸高校・安芸高校において説明会を開催しました。

医療に関心を持つ生徒に向けて、各高校出身の先輩看護師が登壇し、自身の経験を交えながら日々の業務のやりがいや看護職の魅力を伝えました。

当院は今後も行政や地域の学校と協力し、高知県東部の未来を担う医療人材の育成に力を注いでまいります。



In
室戸高校
安芸高校

患者さまの安全を守る「気づく力」。 急変対応の出前講座を開催

研修報告

看護部長／岡本直樹

5月29日、高知赤十字病院より、急性・重症患者看護専門看護師の大崎杏奈先生をお招きし、「急変兆候を見逃さないためのアセスメント」をテーマに出前講座を開催しました。

当日は現場のスタッフだけでなく、管理職も含む 24 名が参加し、部署や役職を越えて学びを深めました。

■実践的な評価技術を学ぶ

講義では、患者さまの状態を的確に把握するための評価手法(ABCDE アプローチ、qSOFA、FAST)や、医療スタッフ間で正確に情報を伝達するための報告手法(SBAR)について学びました。

また、グループ演習を通じて、明日からの現場で活かせる実践的なスキルを共有しました。

■日頃の観察の大切さを再確認

今回の研修で改めて感じたのは、急変時の対応力だけではなく、患者さまの小さな変化に気付く観察力の重要性です。

管理職も演習に参加したことで、現場スタッフが変化に気づき、迷わず報告できる環境づくりの必要性を再認識しました。

今回の学びを院内で共有し、今後も患者さまの安心・安全を守る医療の提供に努めてまいります。

大崎先生、この度は熱意あるご指導をいただき誠にありがとうございました。



多職種
連携

リハビリテーション部×放射線部 合同勉強会

放射線部 診療放射線技師／山本隆信

当院では、多職種が互いの専門知識を学び合い、連携を深める取り組みを行っています。

その一環として、リハビリテーション部と放射線部による合同勉強会を開催しました。画像診断への理解を深めることで、職種を越えた知識の共有や新たな気づきにつなげることを目的としています。

本勉強会では、放射線技師が撮影した画像をもとに、画像から読み取れる身体や患部の状態について学び、画像診断への理解を深めました。これにより、リハビリテーションにおける評価や、治療計画の質の向上につなげています。

4月23日と5月21日に開催した勉強会では、「分かりやすく実践に活かしやすい」と、参加者から好評の声が寄せられました。

今後も多職種がチームとして医療の質を高め、患者さまの健康維持・増進に貢献できるよう、継続して取り組んでまいります。



「こころのバッテリー、充電できていますか？」

～第1回メンタルヘルス研修を開催しました～

チームリノベーション室

6月22日、新棟3階大会議室にて「第1回メンタルヘルス研修」を開催しました。講師には海辺の杜ホスピタル「こころの杜」の榎本宏子先生(保健師)をお招きし、新入職員を中心に約30名が参加しました。

研修では、「こころのバッテリーが減っている状態」をメンタルヘルス不調として捉え、誰もが当事者になり得ることを学びました。また、自分自身の「考え方のクセ」を知るワークを通じて、ストレスへの向き合い方や相手を責めずに気持ちを伝える「I(アイ)メッセージ」など、日常業務ですぐに活かせるコミュニケーションスキルについて学びました。

当院では、今年度より専門家と連携したメンタルヘルスサポート体制を導入しており、今後も研修や個別フォローを通じて、職員が安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでまいります。



令和 8 年度 永年勤続表彰受賞者一覧



【40年勤続者】

白井 隆(白井会会長)

【20年勤続者】

浦川 千尋(西病棟 准看護師)

笠松 とし子(外来・中材手術部 看護補助者)

下村 拓也(リハビリテーション部 理学療法士)

森本 一洋(リハビリテーション部 作業療法士)

曾我本 祐大(リハビリテーション部 作業療法士)

山本 峰子(医師事務補助者)

【15年勤続者】

白井 美和(回復期リハビリテーション病棟 准看護師)

山中 直子(回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士)

西岡 優子(回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士)

黒岩 友和(栄養部 調理師)

樋口 敏久(デイサービスたの 介護福祉士)

【10年勤続者】

河村 亮(西病棟 看護師)

田村 磨美(回復期リハビリテーション病棟 看護師)

徳永 光璃(回復期リハビリテーション病棟 准看護師)

松本 陵(回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士)

大野 藍(外来・中材手術部 看護師)

岡村 眞紀子(外来・中材手術部 看護師)

藤田 かなえ(外来・中材手術部 看護補助者)

小野川 季(リハビリテーション部 理学療法士)

横内 亜莉沙(リハビリテーション部 理学療法士)

松田 彩(リハビリテーション部 理学療法士)

久米 哲司(リハビリテーション部 理学療法士)

中島 大真(リハビリテーション部 作業療法士)

松岡 賢也(リハビリテーション部 作業療法士)

柴野 美樹(臨床検査部 臨床検査技師)

近藤 美和子(経営企画部総務課 事務員)

【5年勤続者】

牛窓 萌(西病棟 看護師)

藤本 結香(西病棟 看護師)

野々下 和也(西病棟 看護師)

向山 美樹(外来・中材手術部 准看護師)

森 裕希(リハビリテーション部 理学療法士)

白井 晴隆(リハビリテーション部 作業療法士)

和田 瑞季(リハビリテーション部 作業療法士)

田中 智美(リハビリテーション部 作業療法士)

南部 裕人(リハビリテーション部 言語聴覚士)

山本 隆信(放射線部 診療放射線技師)

塩田 雪月(栄養部 管理栄養士)

黒岩 瑠奈(栄養部 管理栄養士)

常石 照代(経営企画部総務課 事務員)





「転倒予防教室」

令和 8 年 4 月 22 日 理学療法士 中屋順治

「肩の痛み」

令和 8 年 6 月 24 日 作業療法士 倉澤澄子

「睡眠時無呼吸症候群の検査(PSG 検査)について」

令和 8 年 5 月 27 日 臨床検査技師 濱渦慎哉

5/27 に「睡眠時無呼吸症候群の検査について」たのたの健康隊で発表させていただきました。内容は少し難しい内容だったのであまり人が集まらないのではと心配をしておりましたが、会場の方には興味をもった多くの方々が集まってくださり講師を務める身としても、とてもうれしかったです。来てくださった皆様方、本当にありがとうございました。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)は「睡眠中に呼吸が止まる、または浅くなる」病気です。昔から現在に至るまで交通事故のニュースなどでよく話題になっています。

SAS の特徴は、重要な仕事・作業をしているにもかかわらず眠ってしまうことです。その他にもただの寝不足だと判断して自覚症状がない人がほとんどです。日中の眠気は仕事・作業または日常生活に大きな影響を与え、最悪は人を巻き込む思いがけない大事故を引き起こしかねません。日常で眠気を感じる、または周りの人から睡眠中に呼吸が止まっている、もしくはいびきをかいているなど指摘があったときは是非一度睡眠時無呼吸外来を受診してみてください。受診により PSG 検査が必要と診断される場合があります。PSG 検査は 1 泊入院で行う検査です。全身にセンサーを取り付けた状態で一晚の睡眠状態を記録したものを技師が評価し、SAS の重症度を見ています。

早く受診することで早期治療にも繋がり、生活の質もかなり向上する方もおられます。これを読んでいる皆さんが少しでも安全で活気ある日常生活を送れることを願っております。

～2026 年 7 月以降の年間講演予定が決まりました～

これからも多職種で構成された田野病院の強みを活かし、テーマの幅を広げていきたいと思えます。気になるテーマがあれば是非ご参加ください。



開催月	テーマ	講師
R8 年 7 月	頭痛外来について	井川副院長・看護部長
8 月	腰 or 膝の痛みについて	リハビリテーション部
9 月	糖尿病 or 肥満について	庵地医師・看護師
10 月	インフルエンザ予防について	感染委員会
11 月	温泉の効能・入り方について	総務課
12 月	未定	薬剤部
R9 年 1 月	未定	栄養部
2 月	緑内障・白内障について	看護部(眼科医監修)
3 月	未定	地域医療連携室
4 月	転倒予防教室	リハビリテーション部
5 月	未定	検査部
6 月	未定	リハビリテーション部

各テーマは、開催の約1カ月前に
病院ホームページ、病院内掲示、
たのたの温泉内掲示、温泉インスタ、
田野町掲示板にてお知らせします。

毎月第4水曜日

新棟1階待合室

13:00～13:30 開催

『楽楽けんこう隊』は、2026 年 7 月より『たのたの健康隊』へ名称を変更します。

より読みやすく、皆さまに親しみを感じていただけるよう名称を変更いたしました。



☆夏野菜を使ったレシピを紹介します

【 ナスの冷やし南蛮 】

管理栄養士 黒岩瑠奈

○材料(2 人分)

エネルギー178kcal(1 人分の栄養価)

たんぱく質 2.4g

塩分 1.8g

- | | |
|--------------|-------|
| ・ナス | 2 本 |
| ・片栗粉 | 適量 |
| ・玉ねぎ | 1/4 個 |
| ・大葉 | 2 枚 |
| ・糸とうがらし | 適量 |
| ・めんつゆ(2 倍濃縮) | 大さじ 2 |
| ・水 | 大さじ 4 |
| ・酢 | 大さじ 2 |
| ・砂糖 | 小さじ 1 |
| ・みりん | 小さじ 1 |
| ・ゴマ油 | 大さじ 1 |

* 具材はお好みで！

ピーマンやオクラなど、夏野菜を使っていても◎

夏野菜には、ビタミンやミネラルなど身体の調子を整える栄養素が含まれています。夏本番になり気温も高くなってくるので、夏バテを防ぐためにも積極的に摂取したいですね！

冷やすと
味がしみて美味しい！

風味を活かして
減塩にも。

さっぱり食べられ
食欲のない時にもオススメ。



○作り方

- ① 玉ねぎは薄切りにして 5 分～10 分水にさらしておく。大葉は千切りにする。
- ② A の調味料を合わせておく。
- ③ ナスは乱切りにし、片栗粉と一緒にポリ袋に入れてよくなじませる。
- ④ フライパンにゴマ油を入れ、③を軽く焼く。火が通りにくい場合は蓋をして蒸し焼きにする。
- ⑤ 皿にナスと玉ねぎを入れ軽く混ぜ、合わせておいた A の調味料をかける。
- ⑥ 大葉・お好みで糸とうがらしをのせ、冷蔵庫に入れて冷やして完成。

新たな一歩

リレーエッセイ

リハビリテーション部 理学療法士／住友啓資

この度、前職場の退職に伴い、縁あって 4 月から高知県へ移住してきました。

地元である徳島の職場では、たくさんのイベント行事に参加してきました。そのなかでも、リレーマラソンは部門や年齢を超えて、チーム全員で 1 つの目標に向かってタスキを繋ぐため、1 人で走るフルマラソンとは違う感動がありました。

田野病院でも、さまざまなレクリエーションやサークル活動、イベントの開催をしていると伺っています。職種を超えてのコミュニケーションを大切にしていきたいと感じるとともに、1 日も早く田野病院の戦力として地域社会に貢献したいと強く願っています。



新人紹介 ①

- ① 所属・職種
② 出身地
③ 趣味・特技
④ 意気込み

多職種連携による

消防訓練を実施しました

当院では、火災発生時に迅速かつ安全な対応が行えるよう、5月27日に消防訓練を実施しました。

今回は、警報ベルが聞こえにくい場所があることを想定し、職員同士が声を掛け合いながら情報共有を行うなど、多職種での連携体制を確認しました。

また、新人を中心に「火災受信盤の位置確認」「消火器の使用方法」「初期対応の流れ」など、基本的な防災対応についても学びました。

今後も継続して訓練を行い、患者さま・利用者さまに安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいります。

経営企画部総務課



編集後記

暑い日が続くと冷たいものばかり欲しくなりますが、ゆっくりお風呂に浸かると心も体もすっきりします。

夏こそ上手に入浴して元気に過ごしましょう。

経営企画部総務課

たのたの温泉担当/楠目

～表紙写真について～

撮影者：岡崎 裕行 様

・岡山大学医学部卒業

・婦人科医師として活躍

・倉敷中央病院を定年まで勤務

・倉敷中央病院を定年退職後は診療所勤務をしながら、趣味である写真撮影のため国内・国外を旅していた。

当院会長と親交が深く、素敵な写真を数多くご提供いただいております。

四季折々の風景写真は院内にも展示しており、多くの患者さま・利用者さまに親しまれています。

今回の表紙は、京都市にある西芳寺(さいほうじ)です。

境内を埋め尽くす約 120 種類もの苔が美しいことから「苔寺」とも呼ばれています。

新緑と青もみじが最も美しく映える、夏から梅雨時期に撮影されたものと思われます。

